

## ルノープログラム留学終了報告書

### 基本事項

所属：大学院理工学研究科化学工学専攻黒田研究室

留学先国：フランス

留学先大学：Ecole Supérieure de Physique et de Chimie Industrielles de la Ville de Paris

留学先大学所属：Laboratoire PMMH (Physique et Mécanique des Milieux Hétérogènes)

### プログラムについて

Cycle Majors プログラムに参加

### 留学前の準備

博士後期課程3年の途中からの留学だったが、所属予定研究室での研究分野と東工大での自分の研究とは内容が異なっていたので、一年間は博士論文とは違う研究をしようと考えていた。留学先の指導教授とはメールでやりとりをしていた。私のこれまでの研究内容等を簡単に説明し、またホームページや論文から得た情報で興味のある研究内容（むこうの研究室での）を伝えるなどしていた。実際に研究テーマのヒントをもらったのは7月に研究室を一度訪れたときで、その後ルノーの語学研修とヨーロッパ旅行が終わった9月にディスカッションをしてテーマが決まり、研究開始となった。

ビザの取得は大使館のホームページに説明があったので何も問題はなかった。

語学については、3月に日仏学院の講座を受講し、4月からは東工大でジャン先生のセミナーに出席した。ルノー財団が用意してくれた寮 (Cité Universitaire) に住めたということもあって、語学でものすごく困ったということは無かったが、7月の語学研修では周りの学生（ほとんどが Paris Tech 修士号プログラム）との差があまりにも大きく、授業についていくのに必死であった。

### 留学中の勉学および研究

研究に十分に時間を割けるようにとの指導教授のアドバイスに従って登録はせず、聴講生として授業を受けた。フランスでの、ひとつの大学で全ての授業を受けるのではなく複数の大学に授業を受けに行くというシステムがよくわからず戸惑ったが、ホームページを参考に担当者に質問をするか或いは研究室の周りの教員に相談する等して、研究分野に関係が深いと思われる講義を選び、担当教員に直接メールを送って聴講生として授業を受けたい旨を伝えた。授業はどれも内容が濃く、理解するだけでなく実際に研究に役立てられるようにとの考えから演習や宿題も多いのが印象的であった。

### 留学中に行った勉学・研究以外の活動

ルノープログラムのひとつであるフランス国内およびスペイン、ドイツへの研修旅行の他

に、休暇を利用して旅行を楽しんだ。チェコ、ルクセンブルグ、ベルギー、オランダ、イギリスに行った。パリからはヨーロッパの各都市へ短時間で、安く（日本から行くのに比べれば）行くことができるのがよかった。長距離バスやユーロスターに乗るのももちろん面白かったが、電車をのりついで旅行をするのが一番面白かった。街の風景や人の感じ、話されている言葉や食べ物が少しずつ変化していくのがわかるのでとても興味深かった。休暇以外には、映画館や美術館に行った。学校帰りに研究室の友達と映画を観に行き、感想を話しながらごはんを食べるのも楽しかったし、ひとりでふらっと映画をみようと思いついたときもあちこちに映画館がたくさんあるのでとてもよかった。研究室の学生も研究者もとても仲がよく、誰かの家でパーティーをしたり休日にいっしょにピクニックや散歩に行ったりもした。同じルノーのプログラムに参加している学生が寮の同じ建物に住んでいたのと一緒にごはんを食べたり出かけたり、が気軽にできるのもよかった。

### 留学費用について

渡航費、生活費等全てルノー財団からの奨学金でまかなった。

### 留学先での語学状況

英語で行われる授業も一部あったが、基本的に全てフランス語だった。研究室生活が始まってからは、例えば工具の名前がわからない等のちょっとした困ったこともあったが、周りの人に聞けばよいので特に困ったことはなかった。今思うと、7月の語学研修と8月の旅行中は大変だったが、9月からは大変だと思うことはあまりなかったように思う。日々のディスカッション等で上手く説明できない等のもどかしさもあったと思うが苦しかったという感じはしない。

### 就職活動について

留学先では特に何もしなかった。

### ルノープログラムを希望する後輩へのアドバイス

参加するプログラムによって生活は大きく異なるので、そこはよく考えて応募する必要がある。Cycle Majors プログラムは自由度が高く、研究も授業も自分の興味に応じて選択することができるのが私にとってはとてもよかった。研究を進める上でも、また街へ出て様々なものに会おうときにもフランス語が十分にできると色々なことがスムーズに進むと思うので語学の準備はしっかりしていくのがいいと思う。具体的には、自分の考えていることを相手に伝える練習をたくさんしていくのがいいと思う。あとは体力と好奇心で一年間を自分のすきなように、面白いものにできると思う。